

SDGs への取り組み

SDGs は、将来にわたって安全で安心して住み続けられる地球環境の実現のために、2015年9月の国連サミットにおいて採択された国際社会共通の17項目の目標です。

弊社は、昭和33年の創業以来、廃棄物処理の中核企業として、首都東京の経済活動や、暮らし、働き、学ぶ全ての人々の生活を支える一端を担っており、今後も、廃棄物処理事業者として、廃棄物の適正処理、資源化を進めていくことが、この世界共通目標の達成に向けての貢献になると考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



安心して働くことができる職場環境



弊社では、ダイバーシティー実現のため、新卒のほかに豊富な経験と専門的な知識を持つシニアや異業種からの転職者を率先して受け入れ、新たな価値の創造に挑戦しています。多様性を持った視点に立って社内、社外における事業を展開することができれば、社員のライフワークバランスの実現にも寄与することができると考えています。

教育環境を整え、人を育てます



江東区海外支援事業の一翼を担って、平成 16 年から現在までに累計で約 3,000 セットの机・イス等をカンボジア王国に寄贈し続け、教育を受けられる環境を整えてきました。今後もこの事業を継続し、人々が平等に教育を受けることができる環境を整えていきたいと考えています。

また、発展途上国における安定収入の確保と廃棄物の資源化技術の移転を図るため、調査研究を進めていきます。

さらに、社内においても、就労を通じた職業教育の場の提供により、自立した社会人の育成をめざすとともに、研修補助制度等の運用による、意欲や知識に満ち溢れた次世代を担う社員の育成を図っていきます。

廃棄物の適正処理を進めます



弊社の工場は、先進的で高度な設備の導入により廃棄物の再資源化に積極的に取り組み、地球環境の保全と循環型社会の構築に貢献しています。

これからも、リサイクルが困難な混合廃棄物をマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、及び化石燃料の代替品となる RPF 化（固形燃料）として再生する新しい事業を展開していきます。

皆様の使う責任をサポートします



物を使う側の責任として、できる限り長く使用すること、そして、廃棄物になった場合でも、そこから有用なものを取り出して社会に資源として循環させることが挙げられます。

しかし、その資源化をユーザーの皆様が最後まで直接行なうとしたら、極めて非効率なものとなります。

弊社は廃棄物リサイクルの専門業者として、この廃棄物を少しでも有用なものに変化させ、社会に資源として循環させていくことで、使う側の責任をサポートすることができます。

大気中へのフロンや CO₂ の排出量を削減します



オゾン層を破壊するフロンや地球温暖化の元凶と言われる CO₂ は、環境中への放出削減が求められています。

弊社は、第一種フロン類充填回収業者として確実にフロンを回収します。また、事業活動に伴う CO₂ 排出抑制に向けて、車両に代わり大量輸送が可能となる船舶輸送を積極的に進めるほか、低公害車の導入、及びプラントの運転効率の向上や社内照明の LED への転換を図っていきます。

マイクロプラスチックの削減に向けて



マイクロプラスチックによる環境汚染が深刻化しています。由来には、洗顔料や歯磨き粉のスクラブ剤として使われるプラスチック粒子などがありますが、大多数は、プラスチック製品が、太陽の紫外線、波の作用や岩・砂などの外的要因によって崩壊し、微細片となったものと言われています。

マイクロプラスチックを少しでも削減するには、プラスチック製品を適切に回収し環境中に出さないことが重要です。弊社は、今後も廃プラスチックの迅速で適正な処理を進めることにより、陸域および海域における生物の生育環境、そして、川や海の豊かさを守る活動の一翼を担っていきます。

#持続可能な社会に向けて

人に動脈と静脈が必要なように、都市も供給系(動脈)と処理系(静脈)とを必要としています。なかでも廃棄物を適正に処理するシステムは、生活環境の保全や公衆衛生の向上はもとより、限りある資源の循環利用を進めるために不可欠なものです。

弊社は、今後も都市活動に伴う廃棄物を適正に処理することにより、SDGs が目指す持続可能な世界の実現に貢献していきます。

2021年6月1日